

日本社会保障法学会会報 第40号

発行日：2016.4.1 発行人：加藤智章 編集人：片桐由喜 発行：日本社会保障法学会
本部事務局住所：〒047-8501 北海道小樽市緑3丁目5-21 小樽商科大学商学部 片桐研究室気付
Tel：0134-27-5367 Fax：0134-27-5367 E-mail：sslaw@res.otaru-uc.ac.jp
URL：http://www.jassl.jp/ 会員数：538名（2016年4月1日現在）

大会・総会年1回開催への移行に伴う理事・監事任期の一時的な短縮について 代表理事 加藤智章（北海道大学）

昨年の9月以降、会報、総会、学会ホームページでご報告してきましたように、学会理事会では大会・総会を現在の年2回から年1回開催に変更することを検討しています。昨年11月に会員のみなさまからご意見を募り、あり方検討委員会（今後の学会誌発行や学会開催のあり方等に関する検討委員会）での検討をふまえて、2015年12月12日開催の理事会において、大会・総会の開催を、2018年度から年1回開催（春季）に変更するとの方針が定まりました。本年（2016年）5月27日の理事会で最終審議のうえ、年1回開催を決定し、翌28日の総会でご報告し、会員のみなさまのご了解を得たいと考えているところです。

この年1回開催への変更にあわせて、理事・監事（以下、まとめて理事といいます）の任期がひとつの問題となります。次期の理事は2016年10月に選出され、従来通りとすると2018年10月までの任期となります。しかし、2018年には秋の学会・総会は開催されませんので、理事任期の期間と新理事会開催との間にずれが生じます。

そこで、現在10月から始まる理事・監事の任期を、5月始まりに変更し、移行期にあたる次期第18期の理事会体制を2年半とするか1年半とする必要があります。2018年からの学会・年1回開催体制への移行期ということもあり、執行部では、規約上2年とされている理事・監事の任期を、次期第18期にかぎり1年半にするという規約の変更を理事会に提案する予定です。

理事の任期を第18期に限り1年半とする議題も、本年5月27日の理事会で審議し、理事の過半数の賛成を得た場合に翌28日の総会で提案し、会員のみなさまのご承認を得たいと考えております。

大会・総会の開催回数は重要な議題であり、また理事・監事の任期短縮は規約変更事項ですので、会員のみなさまにおかれましては、総会へのご出席をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

第69回春季大会開催案内 事務局長 片桐由喜（小樽商科大学）

日本社会保障法学会第69回春季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただけますようお願い申し上げます。

- ・日 時：2016年5月28日（土） 9：00～17：00
- ・会 場：同志社大学今出川キャンパス（〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入）
大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。
- 個別報告・総会・シンポジウム会場：良心館
- ・お問い合わせ先 Tel：075-251-3073（坂井岳夫研究室）

・ **大会次第** (詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください。)

受付開始	9:00
開会	9:30

個別報告

- 上原紀美子 (久留米大学) 9:30～10:30
「生活保護の財政責任―地方交付税制度からの検討―」
司会：丸谷浩介 (佐賀大学)
- 西森利樹 (横浜国立大学) 9:30～10:30
「社会福祉サービスとしての公的後見制度の導入可能性」
司会：関ふ佐子 (横浜国立大学)

共通テーマ・シンポジウム

「子供支援のあり方と社会保障法」

司会：菊池馨実 (早稲田大学)、平部康子 (福岡県立大学)

- 平部康子 (福岡県立大学) 10:40～10:50
「シンポジウムの趣旨と構成」
- 伊奈川秀和 (全国健康保険協会) 10:50～11:25
「社会保障法制における『子ども』のニーズの位置づけと変容」
- 常森裕介 (四天王寺大学) 11:25～12:00
「社会保障給付における教育支援と子どもの発達」

開催校あいさつ・総会 12:00～12:30

休憩 (昼食) 12:30～13:20

共通テーマ・シンポジウム (続き)

- 倉田賀代 (熊本大学) 13:20～13:55
「社会福祉サービス供給体制における子どもの主体的利益・権利保障のあり方―サービス利用手続きの面からの日独法比較―」
- 福田素生 (埼玉県立大学) 13:55～14:30
「子育て・子育ての経済的支援策の再検討―社会手当制度を中心に―」

○平部康子（福岡県立大学）…………… 14:30～15:05
「子どもに対する給付の形式」

休憩 …………… 15:05～15:25

○シンポジウム…………… 15:25～17:00

大会終了 …………… 17:00（予定）

※同封の大会出欠確認はがきに必要事項を記載の上、**2016年5月18日（水）**までにご返送いただきますようお願いいたします。

※昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「2. 昼食」の「要」に○をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。なお、昼食券を申し込みされた方は必ずご購入ください。

※懇親会の参加を希望される方は、大会出欠確認はがきの「3. 懇親会」の「出席」に○をつけてください。懇親会の参加を希望された方は、大会当日、受付にて懇親会券を購入してください。代金は7,000円です。懇親会の会場は、新島会館（京都市上京区寺町通丸田町上ル）です。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 丸谷浩介（佐賀大学）

第69回春季大会は、2016年5月28日（土）同志社大学今出川キャンパスにおいて開催されます。シンポジウムのテーマは「子ども支援のあり方と社会保障法」（担当理事 平部康子理事）で、報告者グループ（平部康子会員、伊奈川秀和会員、常森裕介会員、倉田賀世会員、福田素生会員）による意欲的な報告が準備されています。個別報告は上原紀美子会員、西森利樹会員を予定しています。

第70回秋季大会は、2016年10月15日（土）神奈川大学において開催されます。午前中は嵩さやか理事を中心に「遺族年金の国際比較」を、午後は江口隆裕理事・関ふ佐子理事を中心に「被用者の引退過程と所得保障－60歳代前半を中心に」が予定されています。なお、個別報告はございません。

学会で取り上げるべきテーマなどにつき会員の方からのご意見をお待ちいたしております。個別報告についても随時エントリーを受け付けています（marutani@cc.saga-u.ac.jp）。

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 丸谷浩介（佐賀大学）

学会誌投稿論文を募集しています。ふるってご応募ください。募集要領は下記の通りです。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会で決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、14,000字（200字詰め原稿用紙70枚）以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公

正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避けください。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。

- 7 英文タイトルおよび英文要約（200 語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含め 3 部提出してください。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締め切りは、2016 年 9 月 30 日（必着）とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付ください。

〒047-8501 北海道小樽市緑 3 丁目 5-21
小樽商科大学商学部 片桐研究室気付
日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

学会奨励賞候補作品の募集について 企画委員長 丸谷浩介（佐賀大学）

2016 年度学会奨励賞候補作品の推薦（自薦を含む）を下記要領で募ります。
なお、推薦された候補作品は審査委員会で審査の上、受賞者は秋の総会で表彰いたします。

記

- 1 対象作品：2015 年（1 月から 12 月）に公刊された著書および論文
- 2 著者・筆者の年齢：当該著書・論文公刊時に 40 歳未満の会員
- 3 受賞者数：原則として 1 名
- 4 締め切り：2016 年 5 月 31 日
- 5 推薦の宛先：〒047-8501 北海道小樽市緑 3 丁目 5-21
小樽商科大学商学部 片桐研究室気付
日本社会保障法学会事務局

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 西田和弘（岡山大学）

- ・学会誌 31 号については、会員の皆様のご協力により、現在、公刊に向けて鋭意編集中です。
- ・69 回春季大会では、学会当日の昼食休憩時に編集委員会の開催を予定しております。詳細については追ってメールにてお知らせいたしますので、編集委員の方はご承知おきください。
- ・ご所属の図書館・資料室への学会誌配架へのご協力ありがとうございます。学会誌 19 号までは『社会保障法第〇号』として発刊しておりましたが、学会誌 20 号以降は共通タイトルを付する形にしております。その関係で、図書館・資料室での継続購入が途絶えている場合があります。あらためてご確認いただき、継続購入していただけますようお願いいたします。

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

○2015 年度 10 月定例理事会（17 期）

- ・日時：2015 年 10 月 16 日（金）16：00～17：30
- ・場所：東北大学 川内キャンパス 法学研究科棟 3 階 大会議室
- ・議事内容

- ① 第 68 回秋季大会の運営について (略)
- ② 第 69 回春季大会の運営について (略)
- ③ 第 70 回秋季大会以降の運営について (略)
- ④ 学会誌投稿論文について

丸谷企画委員長より締切日までに投稿論文の応募がなかった旨、報告された。

- ⑤ 学会誌編集委員会より

西田編集委員長より抜き刷りの無償配布をやめ、PDF 化したいとの提案がなされ、今後は抜き刷りの無償配布は行わず PDF で配布するが、抜き刷りを欲しい場合には執筆者が個人的に法律文化社に依頼する (1 部 400 円) ことが承認された。

- ⑥ あり方委員会からの報告

水島あり方委員会委員長より、2018 年度から大会を年 1 回方式とすることが提案され、その決定に際しては民主的手続きで進める旨の報告がなされた。

- ⑦ 各委員会より (略)

○2015 年度 12 月定例理事会 (17 期)

- ・日時：2015 年 12 月 12 日 (土) 16:00~17:30
- ・場所：京都大学 法経済学部北館 3 階 第 5 演習室
- ・議事内容

- ① 第 69 回春季大会の運営について (略)
- ② 第 70 回秋季大会の運営について (略)
- ③ 第 71 回春季大会以降の運営について (略)
- ④ 学会誌投稿論文について (略)
- ⑤ 学会誌編集委員会より (略)
- ⑥ 各委員会より

あり方委員会の水島委員長より、学会 HP 上で意見を募ったところ 7 名からの意見が寄せられ、学会開催を年一回とする点について反対はなく、春季開催とする点について 3 名から意見が寄せられ、2 名は賛成の意向で、1 名は労働法学会と合わせて秋季開催とする提案であることが報告された。

入退会のお知らせ 日本社会保障法学会事務局

- ・2015 年 10 月 16 日 (金)、12 月 12 日 (土) の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。(順不同、敬称略)

菅原京子 (山形県立大学保健医療大学)、尹文熙 (大阪市立大院)、門脇美恵 (名古屋経済大学法学部)、鈴木敏彦氏 (和泉短期大学)、菅陽一 (菅陽一法律事務所)、岡崎充隆 (椿法律事務所)、由良登信 (弁護士)、石口俊一 (広島弁護士会)、小久保哲郎 (大阪弁護士会)、黒岩哲彦 (東京弁護士会)、葛西聡 (青森県弁護士会)、我妻正規 (広島弁護士会)、常岡久寿雄 (たすく法律事務所)、徳田隆裕 (弁護士法人金沢合同法律事務所)、堺啓輔 (堺法律事務所)、本多朱里 (弁護士)、田所良平 (三多摩法律事務所)、勝俣友紀子 (たすく法律事務所)、今西雄介 (神戸合同法律事務所)、虻川高範 (秋田中央法律事務所)、淵上隆 (弁護士)、藤岡拓郎 (千葉第一法律事務所)、田中武士 (日本福大学院)

- ・2015 年 10 月 16 日 (金)、12 月 12 日 (土) の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。(順不同、敬称略)

田畑洋一、永田千鶴

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○学会奨励賞受賞者の表彰について

島村暁代会員（信州大学）が「「高齢期の所得保障：ブラジルとチリの法制度を端緒とする基礎的考察 1～5」『法学協会雑誌』により 2015 年度の学会奨励賞を受賞され、第 68 回秋季大会総会で表彰されました。

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1 号から 12 号までは委託事務局に、13 号以降は法律文化社営業部（Tel: 075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1 号から 12 号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

○英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第 70 回秋季大会は、2016 年 10 月 15 日（土）、神奈川大学にて開催される予定です。

○第 69 回春季大会（2016 年 5 月 28 日）における一時保育の利用申込みについて

第 69 回大会においては、大会時間中の一時保育を実施いたします。

この一時保育は、同志社大学の学会会場近くに開設する一時保育室にて、株式会社タスクフォース（<http://www.taskforce-pr.co.jp>）の保育スタッフが保育を行うものです。

利用料金や申込方法につきましては、4 月 7 日（木）までに学会ウェブサイトでお知らせいたしますので、ご利用希望の方はご覧ください。

この件に関するお問い合わせは、増田弘会員（日本女子大学、メールアドレスは学会名簿をご参照ください）及び金川めぐみ会員（和歌山大学、メールアドレスは学会名簿をご参照ください）の両方をお願いいたします。